

学校法人 中村学園
 専門学校 静岡電子情報カレッジ
 静岡福祉医療専門学校

平成29年度 「第43回・静岡県専門学校バレーボール大会」が開催されました！！

男子バレーボール部主将 総合福祉学科 3年 後藤 淳貴

主将として2回目の専門学校バレーボール大会。昨年まで1セットも勝つことができず悔しい思いをしたため、『今年こそ1勝』の目標を掲げ練習に励んできました。練習中は声も出さず、集中力もあまり持続しませんでした。部長として部員を引っ張る立場にあった私は、自ら声を出しチームを引っ張ることを意識しました。試合が近づくにつれ不安・重圧感が募り、練習でもなかなかチームプレーができませんでした。

しかし、大会当日は、緊張の中でも連携プレーや声を出すことによってチームの士気も上がっていくのを感じました。試合中は必死に最後まで諦めずボールを追い、周りや声を出し合い『1勝』することができました。勝利が決まった瞬間は、心の底からみんなで喜ぶことができ嬉しかったです。

最後に、校長先生をはじめお世話になった先生方、特に顧問の原先生、監督の青木先生、原木先生、応援に来てくださったクラスメイトの皆さん、本当にありがとうございました。



男女バレーボール部 顧問 原 佐音美

バレー部の皆さん、大会お疲れ様でした。一昨年、休部中だった男子バレー部を復活することができました。それは、現3TW男子6名が初心者ながらバレー部に入部し、3年間部活動を続けてくれたからです。感謝しています。ありがとうございます。

今年の目標は『1勝』でした。私自身も、今年こそこのメンバーに勝利の喜びを分かち合いたい気持ちで、指導してきました。正直厳しいかな？との思いもありましたが、試合当日は練習で何度も注意してきた『声を出す』『ミスをしたら声を掛け合う』『点を決めたらみんなで喜ぶ』ことが徐々にできてきましたね。最後の1点が決まった瞬間は皆と喜びを分かちあうことができず残念でしたが(他の試合の審判中だったため)、皆の表情を見て私もほっとしました。おめでとう。

女子バレー部は、控えめなメンバーでした。揃った練習ができませんでしたが、大会前日や、大会の試合間ではメンバーで話し合いながら、声を掛け合いながら今できることを自分たちで一生懸命やっていた姿が目に焼き付いています。今回のことは、今後の学生生活や社会人になってからも必要な場面が必ずあります。部活動のことを思い出し、仲間と協力し乗り越えてください。

最後になりましたが、校長先生をはじめ諸先生方、応援して下さった学生の皆さん、ありがとうございました。

男子バレーボール部 監督 青木 静香

昨年度は、手が届きそうで届かなかった「1セットとる」という目標が、今年度は「必ず1勝」と大きな目標に変わり挑んだ大会でしたね。その思いが実り、最終試合にストレート勝ちしたときには本当に感動しました。

練習の様子は、まだまだ技術が上達しているとは言えない仕上がりでした。しかし、レシーブは確実にという思い、アタックはどんな態勢になっても相手コートにねじ込もうという気迫、積み重ねてきた練習は、確実に成果として表れていると感じました。入部して日が浅い1年生も経験者として大きな力となり、2年生は「今年こそ先輩に1勝を」という熱い思いを持ち、チームとして大きく成長していました。

試合では、課題だった「声を出す」をそれぞれが意識し互いに声を掛け合う姿を見て、このチームなら必ず1勝できると監督の私も力が入りました。勝利した後のみなさんの表情から、本当にチーム一丸となって勝ち取った1勝だったと、胸が熱くなりました。スポーツの清々しい達成感を素敵な思い出に、3年生は社会人になっても、1・2年生は来年の大会を目指し、それぞれ新しい目標を持ち切磋琢磨しお互いを高め合っていくてください。

最後になりましたが、応援して下さった校長先生をはじめ諸先生方、学生のみなさん、本当にありがとうございました。

女子バレーボール部 監督 原木 伴美

みなさん、大会お疲れ様でした。毎週コツコツ練習を積み重ねていましたね。一生懸命、直向きにやり通した姿勢と気持ち、とても素晴らしいと思います。また、試合中は皆が積極的に声をかけ、試合に出ている人もベンチにいる人も一丸となっていましたね。チームワークはどのチームにも負けていなかったと思います。結果こそ残せませんでした。私はそれ以上のものを残してくれたと思っています。今後も自信をもって活躍してください。

下級生の皆さんも、コツコツ努力して来年も頑張りましょう。最後になりましたが、校長先生をはじめ応援して下さった皆様、ありがとうございました。



11月の予定

- 1日(水) 2TW・CW「第4期実習」(～18日)
- 3日(金) 文化の日
- 10日(金) ペン字検定
- 12日(日) 医療秘書検定
- 13日(月) 2CP「保育実習Ⅱ事前研修」(～16日)
- 14日(火) 3CP「メディックファーストエイド」(～16日)
- 18日(土) オープンキャンパス(13:15～)
- 23日(木) 勤労感謝の日(祝日)
- 24日(金) 振替休日
- 27日(月) 3TW「第6期実習」(～12/26)
- 28日(火) 学校学科・入試説明会 17:00～(体験なし)

※ オープンキャンパス・学校学科・入試説明会は別途日程で個別対応も可能です。お気軽に、お問い合わせください！！



女子バレーボール部長 医療情報秘書科 2年 根本 美桜

専門学校に入学して、1年生から練習を重ねてきました。バレーボールをやるのは中学校以来だったため、動きや筋力も落ちていましたが、練習をやっていくうちにスパイクもサーブカットも取れるようになり、徐々にボールも繋がるようになりました。当初は入部を迷っていましたが、入ってみるとバレーの楽しさを再確認することができました。

2年目から部長になりました。もともと周りを引っ張っていくことが得意ではありませんでしたが、特に声を出したり自分なりに練習に挑むよう努力しました。しかし、それは同学年のチームメイトが私をサポートしてくれて、声をかけてくれたり明るくて盛り上げようとしてくれたからだと思います。どうしたら良くなるのか一緒に考えてくれるメンバーがいたからこそやってこれたと思います。

大会の結果は残念なものでしたが、最後の試合はコート内もコート外も声をかけ合っていて楽しんで試合をすることができました。この9人でバレーをやることができ嬉しかったです！

最後に、校長先生をはじめ先生方、学生の皆さん応援ありがとうございました。



2年子ども心理学科「保育実習（施設）」（～10/13）

初めての施設実習

子ども心理学科 2年 白鳥 稚晶

今回、初めて「重症心身障害者施設」という重度の障害をもった方々が生活している施設で実習をさせていただきました。移動は車椅子が必須となり、食事もとろみをつけたり、ゼリー状になっている物しか食べられない方がほとんどでした。

初日は距離感が掴めず、入所者より一歩引いた位置に座り、声を掛けたりしていました。そんな時、私が食事の援助をしていたKさんがずっと顔を横に振り、なかなか口を開けてくださいませんでした。その行動は「遊んでいるのだ」と職員の方に聞いたのですが、私自身は何が楽しいのか分かりませんでした。そこで、一緒に顔を振ってみたらどうだろうと思い、一緒にやってみることにしました。すると、さっきまで無表情で顔を振っていたKさんが、嬉しそうに笑い出し、さらに激しく首を振りました。このようなちょっとしたことが、Kさんにとって楽しいのだと知り、私も大変うれしく思いました。このKさんとの関りによってきっかけに、他の入所者との関り方も理解出来るようになりました。



手足を動かさない人は、忙しく動く目の動きを見ました。独特の言葉を持つ人に対しては、常に一生懸命動かす腕や手の動きを見ました。

入所者によってできる事が違うため、それぞれの気持ちの表現の仕方も様々でしたが、職員の方のご指導を通して積極的に関わることができたと思います。この実習は、私にとって忘れられない経験になりました。

秋季スポーツ大会が開催されました！！

(10/17(火)実施)

平成29年度「秋季スポーツ大会」を終えて

学生会 副会長 ゲーム応用学科 2年 今野 向陽

今回は、男子はサッカー、女子はドッジボールを行いました。

私は2年電子のチームに所属していましたが、今までのスポーツ大会の結果は、全敗もしくは1勝が精一杯でした。

そして、今回は2年間の最後のスポーツ大会ということで、目標は「勝つ」より「楽しむ」に置いて、当日を迎えました。メンバー全員も同じ気持ちだったはずでした。

スポーツ大会当日の1回戦を迎えました。相手に先制点を取られ、「これは、今まで通りの流れだな・・・」と少し悲観的に思いました。

ところが、こちらにも負けていられないと、反撃を開始し1点を取り返すことができました。その後2点目を取ると、なんと1勝を手にすることができました。ここから、私たちは良い波に乗り、なんと2回戦、3回戦と勝利をし、最終戦を迎えました。最終戦は、一進一退の攻防を繰り返し、互いに均衡した試合が続いた結果、引き分けに終わりました。得失点差で準優勝になりましたが、私たちにとってこの結果は、忘れることのない良い思い出になったと思います。



私は、今回のスポーツ大会を通し、2つのことを再認識しました。それは、「仲間と協力することの重要性」と、「最後まで諦めないことの大切さ」です。この2つは、これから本格的に始まる卒業研究や、その先更に先へと繋がっていくと思います。

また、これから残りのイベントなど、どんなことにおいても、自分の人生においてプラスになると考えて、残りの学生生活も過ごしていきたいと思えます。

◆平成30年度生募集◆

入学選考・オープンキャンパスのご案内

企画広報室 高橋 達也

今年も残り二か月です。吐く息も少しずつ白くなり、本格的な冬がやってきます。

卒業年次の皆さん、就職活動や卒業研究など忙しく過ごしているかと思いますが、体調管理に十分気を付け残りの学生生活を有意義に過ごしてください。

さて、企画広報室では皆さんの出身校への訪問など、年間を通じて様々な活動を行っています。ぜひ広報室に遊びに来て、学校生活や実習についてなど皆さんの近況をお話聞かせてください。高校訪問の際、皆さんのお話を高校の先生方にお伝えします。母校の先生も喜んでくれますし、後輩たちの進路選びの参考になると思います。

今年度の入学選考も第一回目を終え、続々と皆さんの後輩になる方々が決定しています。

今後、入学予定の高校生が手続等で来校する機会が増えると思います。校内で高校生を見かけた際は優しく声をかけてあげてください。慣れない環境で緊張している高校生にとって、きっと励みになると思います。皆さんの明るい笑顔と元気のよいあいさつで学校を盛り上げていきましょう。

【平成30年度学生募集入学選考出願受付中】

- 12月 2日(土) オープンキャンパス(13:15~)
- 12月 6日(水) 学校学科・入試説明会(17:00~)
- 12月16日(土) 第2回入学選考

選考内容

- ・指定校推薦選考・特待生選考
- ・自己推薦選考・一般選考
- ・社会人選考・留学生選考



※願書受付 12/15(金) 15時まで

※ オープンキャンパス・学校学科・入試説明会は別途日程で個別対応も可能です。お気軽に、お問い合わせください！！



表面的な「好き」だけで終わらせず、更に掘り下げて考えよう
～ あなたの「就活の軸」は、なんですか～

進路室長 橋野 幸男

後期から、次年度卒業年次の『就職指導』が始まっています(電子情報は『企業研究』。進路指導教員、担任教員が担当)。ここでは、「企業選びの基準」に関連して、ひとつの事例を紹介します。大学女子サッカー選手権で「日本一」の経験があり、現在、ライター・編集者として活躍中の八木彩香さんがネット上に連載していた「スポーツ女子の就活事情」からの引用です。

ある私大の運動部に所属、選手・キャプテンとして活躍したAさんは、就活では持ち前の「体育会系らしい活力」をアピールし、愛用品の製造元で、かつ、第一志望先だったスポーツ用品メーカーから、早々と内定を獲得。ところが、入社後僅か1年4か月で退職。そのわけは…、という事例です。



— その理由を聞いてみると、「するスポーツ」と「支えるスポーツ」の違いを感じたとのこと。確かにAさんはそのスポーツメーカーが好きだったのですが、それはあくまで選手として。現役時代からスポーツをするのは好きでも、観戦するのはあまり好きではなかったそうです。特に達成すべき目標もなく、製品を選手に提供したり、スポーツイベントの裏方に徹したりすることの多い仕事に対して、日々、違和感が募っていったのだとか。

どこかに物足りなさを感じたAさんは、商社に転職。現在はバリバリの営業ウーマンとして、会社の第一線で活躍しています。Aさんは、たとえフィールドが違えど、「常に目標を掲げて戦い続けるようなスタイル」が合っていたと言えるでしょう。

就活時の後悔としてAさんは、「スポーツ好きだからスポーツメーカーという考えは、浅すぎたと思います。すぐに内定を頂けたので、当時は深く考えるタイミングもありませんでした。表面的な好きという感情で終わらせずに、『なぜそれが好きなのか』を考えてみてください。今回の転職で気が付いたことは、私が本当に好きなのは、『目に見える結果を残せたときの達成感』だったのだということです」と話してくれました。—

いかがでしょうか。Aさんは、順調すぎる(?)就活のせいで、「自分が何にこだわりたいのか」、自分の「軸」を深く考えることがなかったと言えるでしょう。皆さんも、入職後の「ミスマッチ」を避けるため、表面をなぞるだけの「自己理解」や「職種・企業研究」で短絡的な選択をしてしまわないよう、留意してください。まずは「回り道」をきちんと経ることも大事です。

